

県内企業景況調査結果

[2018 年 7～9 月期実績、2018 年 10～12 月期見通し]

沖縄振興開発金融公庫 企画調査部発表

— 県内景況は、台風等の影響がみられたものの、総じて拡大基調にある —

調査結果のポイント

1. 業況判断 D.I.

実績（7～9 月期）：「好転」超幅が大幅に縮小するも、22 期連続プラス

〔前期 13.3%ポイント（以下、単位省略）⇒当期 1.6〕

- ・観光関連（食品関連の製造・卸小売、サービスの一部）で台風等の影響がみられたものの、飲食店・宿泊業を中心にプラス維持
- ・建設資材関連（窯業・土石、建設資材の卸小売）で前年の大型公共工事の反動減の影響等がみられたものの、建設業では民間工事を主体として堅調に推移し「好転」超幅拡大

見通し（10～12 月期）：来期も「好転」超幅が大幅に拡大する見通し（来期 12.9）

- ・人手不足の影響等は続くも、観光関連を牽引役に持ち直しの見通し

2. 景況天気

実績：22 期連続「☀️（晴れ）」（前期 21.1⇒当期 16.2）

建設業、小売業、情報通信業、飲食店・宿泊業で引き続き「☀️（晴れ）」

卸売業で「☀️（快晴）」→「☀️（晴れ）」

製造業、運輸業で「☀️（晴れ）」→「☁️（薄曇り）」

サービス業で引き続き「☁️（薄曇り）」

見通し：「☀️（晴れ）」となる見通し（来期 21.3）、全ての業種で「快晴」・「晴れ」の見通し

卸売業で「☀️（晴れ）」→「☀️（快晴）」

建設業、小売業、情報通信業、飲食店・宿泊業で引き続き「☀️（晴れ）」

製造業、運輸業、サービス業で「☁️（薄曇り）」⇒「☀️（晴れ）」

3. 売上 D.I.

実績：「増加」超幅が縮小（同 8.5⇒同 2.2）

見通し：「増加」超幅が拡大する見通し（同 9.4）

4. 採算水準 D.I.

実績：「黒字」超幅が縮小（同 43.0⇒同 35.7）

見通し：「黒字」超幅が大幅に拡大する見通し（同 45.8）

5. 資金繰り D.I.

実績：「楽」超幅がほぼ横這い（同 11.8⇒同 10.7）

見通し：「楽」超幅がほぼ横這いの見通し（同 8.8）

沖縄振興開発金融公庫 企画調査部

[調査内容についてのお問い合わせ先]

企画調査部 調査課（担当：新垣）

沖縄県那覇市おもろまち 1-2-26

電話：098-941-1725 FAX：098-941-1920

I. 調査要領

1. 調査目的

本調査は、県内における企業の景況を把握し、企業経営のための情報を提供することを目的とする。

2. 調査対象

沖縄県内に本社のある法人企業のうち、原則として資本金1千万円以上かつ従業員数20名以上の企業を対象とする。

3. 調査対象企業数及び回答状況

業種	項目	調査対象企業数	回答数	回答率 (%)
		(A)	(B)	(B) / (A) × 100
全業種	全業種	358	319	89.1
	製造業	65	59	90.8
	建設業	68	59	86.8
	卸売業	43	40	93.0
	小売業	47	40	85.1
	運輸業	33	31	93.9
	情報通信業	20	19	95.0
	サービス業	51	45	88.2
	飲食店・宿泊業	27	23	85.2

※全産業には電力・ガス、不動産業が含まれるため、各業種合計と全業種の値は一致しない。

4. 調査方法

対象企業に調査票を郵送し、自計記入を求める方法による。

5. 調査対象期間

当期 … 2018年7～9月期実績 来期 … 2018年10～12月期見通し

6. 調査実施期間

2018年8月下旬～2018年10月上旬

(発送：2018年8月29日、回収基準日：2018年9月14日)

7. 用語説明等

- (1) 本調査は、原則として前年同期との比較による調査であるが、採算水準、在庫水準、雇用判断については当該期に関する質問となっている。
- (2) D. I. (Diffusion Index) とは、質問に対しプラス、中立、マイナスの3つの選択肢を用意し、このうちプラスと答えた企業の割合から、マイナスと答えた企業の割合を差し引いたものである。
- (3) 景況天気については、売上、採算水準、資金繰りD. I. を平均し、その値を5段階に区分して判定している。

Ⅱ. 調査結果

1. 業況判断

— 当期は「好転」超幅が大幅に縮小するも、22期連続プラス、
来期は「好転」超幅が大幅に拡大の見通し —

(1) [2018年7～9月期実績]

自社の業況を総合的に判断する業況判断D. I. は、1.6%ポイント（以下、単位省略）と「好転」超幅が大幅に縮小したものの、22期連続の「好転」超となった。

業種別にみると、情報通信業では「好転」超幅が大幅に拡大、建設業で「好転」超幅が拡大したものの、製造業、卸売業、小売業、運輸業で「好転」超から「悪化」超へ転じ、サービス業で「悪化」超幅がやや拡大、飲食店・宿泊業で「好転」超幅がやや縮小となった。

(2) [2018年10～12月期見通し]

来期の業況判断D. I. は12.9と、「好転」超幅が大幅に拡大の見通しとなっている。

業種別にみると、建設業、情報通信業で「好転」超幅が縮小となるものの、製造業、卸売業、小売業、運輸業、サービス業で「悪化」超から「好転」超に転じ、飲食店・宿泊業で「好転」超幅が大幅に拡大の見通しとなっている。

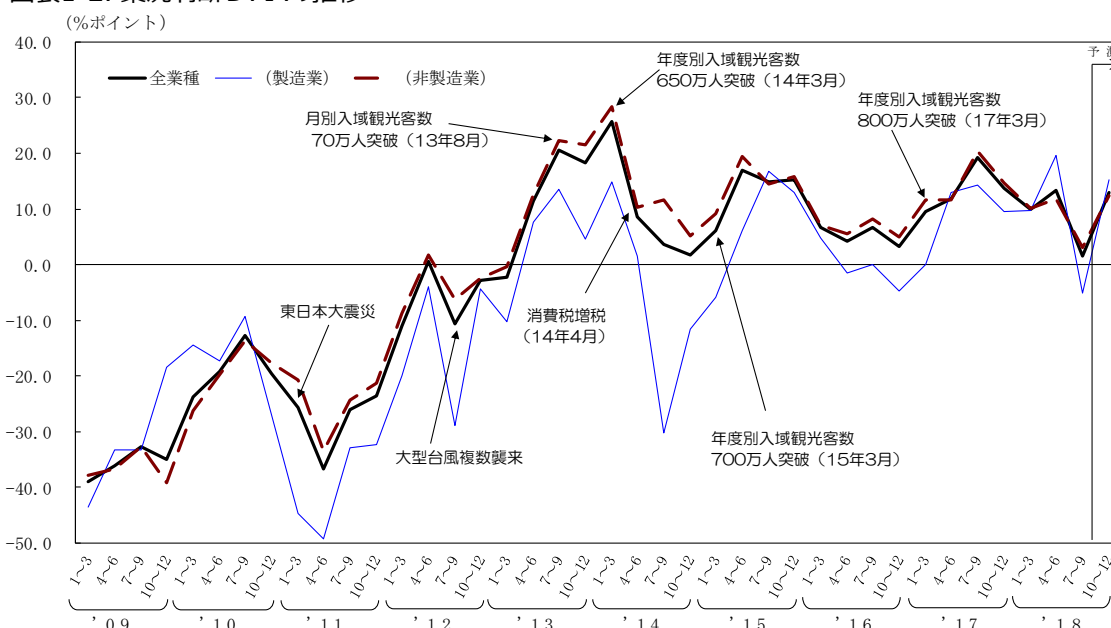
図表1-1. 業況判断D.I.

参考：業況判断D. I.（前年同期比、「好転」-「悪化」企業割合）

（単位：%ポイント）

業種	区分	2017年			2018年			
		4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	今回見通し	今回見通し
全業種	D. I. (①—②)	11.9	19.2	13.8	10.0	13.3	(17.9)	1.6
	① 好転(%)	29.1	31.3	31.1	26.4	27.3	(26.7)	21.9
	② 悪化(%)	17.2	12.1	17.3	16.4	13.9	(8.8)	20.4
	③ 悪化(%)	53.7	56.6	51.6	57.3	58.8	(64.5)	57.7
製造業		12.9	14.3	9.5	9.7	19.7	(32.8)	△ 5.1
建設業		16.9	16.9	13.4	4.6	10.9	(17.2)	18.6
卸売業		15.0	36.6	26.8	35.0	35.0	(22.5)	△ 7.5
小売業		6.3	21.7	17.0	6.5	15.9	(20.5)	△ 2.5
運輸業		33.3	28.1	30.0	3.3	3.0	(6.1)	△ 3.2
情報通信業		△ 33.3	△ 11.1	△ 21.1	5.9	11.8	(11.8)	26.3
サービス業		2.1	4.3	0.0	△ 2.4	△ 2.2	(2.2)	△ 6.7
飲食店・宿泊業		36.8	50.0	33.3	25.0	9.1	(22.7)	4.3

図表1-2. 業況判断D. I. の推移



2. 景況天気

—当期は22期連続「晴れ」、来期も「晴れ」の見通し (全ての業種で「快晴」・「晴れ」の見通し)—

(1) [2018年7～9月期実績]

当期の県内企業の動向を全業種ベースでみると、売上D. I. (8.5→2.2)で「増加」超幅が縮小、採算水準D. I. (43.0→35.7)で「好転」超幅が縮小、資金繰りD. I. (11.5→10.7)で「楽」超幅がほぼ横這いとなり、景況天気(21.1→16.2)は22期連続「晴れ」となった。

業種別にみると、卸売業で「快晴」から「晴れ」、製造業、運輸業で「晴れ」から「薄曇り」、建設業、小売業、情報通信業、飲食店・宿泊業で引き続き「晴れ」、サービス業で引き続き「曇り」となった。

(2) [2018年10～12月期見通し]

来期の見通しは、資金繰りD. I. (8.8)で「楽」超幅がほぼ横這いとなるも、採算水準D. I. (45.8)で「黒字」超幅が大幅に拡大、売上D. I. (9.4)で「増加」超幅が拡大となり、景況天気(21.3)は引き続き「晴れ」の見通しとなっている。

業種別にみると、卸売業で「晴れ」から「快晴」、製造業、運輸業、サービス業で「薄曇り」から「晴れ」、建設業、小売業、情報通信業、飲食店・宿泊業で引き続き「晴れ」の見通しとなっている。

図表2-1. 景況天気図

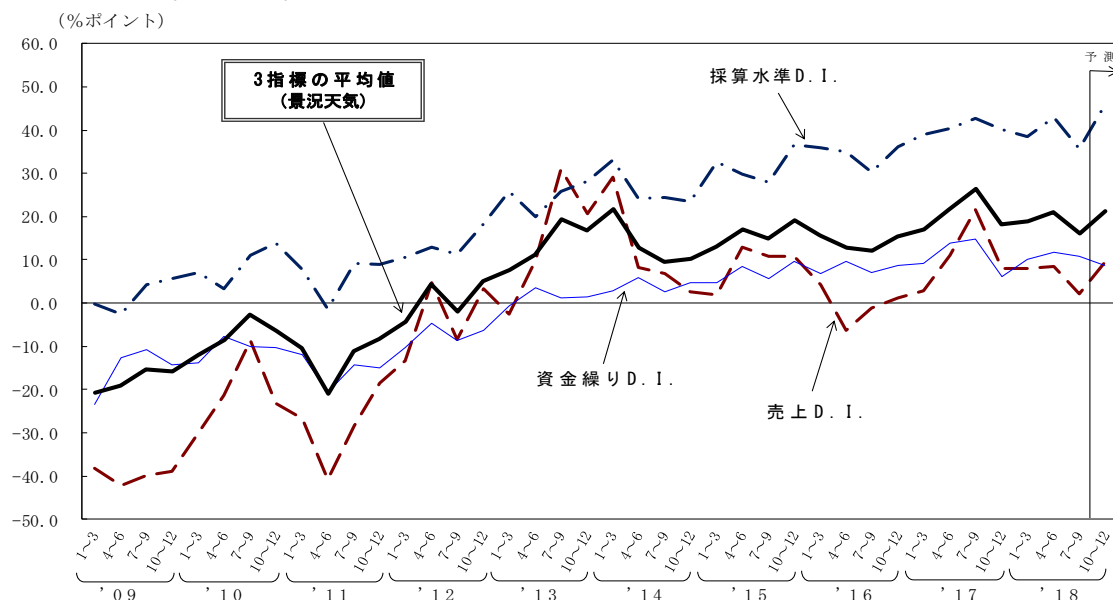
参考: 景況天気 (売上、採算水準、資金繰りD. I. の平均値)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2017年			2018年			
		4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回見通し
全業種		☀ 21.8	☀ 26.4	☀ 18.1	☀ 18.8	☀ 21.1	☀ (21.8)	☀ 16.2
製造業		☀ 18.8	☀ 24.9	☀ 15.9	☀ 13.4	☀ 24.0	☀ (30.6)	☀ 7.3
建設業		☀ 21.5	☀ 11.3	☁ 6.5	☀ 13.8	☀ 17.2	☀ (12.5)	☀ 22.6
卸売業		☀ 33.3	☀ 45.5	☀ 30.9	☀ 38.3	☀ 32.5	☀ (32.5)	☀ 24.2
小売業		☀ 19.4	☀ 32.6	☀ 18.4	☀ 21.7	☀ 22.7	☀ (27.3)	☀ 25.8
運輸業		☀ 22.2	☀ 30.2	☀ 30.0	☀ 15.6	☀ 21.2	☁ (9.1)	☀ 5.4
情報通信業		☁ △7.4	☀ 11.1	☁ 0.0	☀ 15.7	☀ 23.5	☀ (15.7)	☀ 19.3
サービス業		☀ 20.1	☀ 15.9	☀ 17.4	☀ 11.1	☀ 8.9	☀ (18.5)	☁ 3.0
飲食店・宿泊業		☀ 42.1	☀ 51.4	☀ 31.9	☀ 25.0	☀ 19.7	☀ (22.7)	☀ 27.5

☀ 快晴 — 30以上～100以下 ☁ 晴 — 10以上～30未満 ☁ 薄曇り — △ 5以上～10未満
☁ 曇り — △ 30以上～△ 5未満 ☔ 雨 — △ 100以上～△ 30未満

図表2-2. 売上、採算水準、資金繰りD. I. 値の推移 (全業種)



3. 売上

— 当期は「増加」超幅が縮小、来期は「増加」超幅が拡大の見通し —

(1) [2018年7～9月期実績]

当期の売上D. I. は2.2と、「増加」超幅が縮小となった。

業種別にみると、建設業で「減少」超から「増加」超となったものの、製造業、運輸業で「増加」超から「減少」超に転じ、サービス業で「保合い」から「減少」超、卸売業、小売業で「増加」超幅が大幅に縮小、情報通信業、飲食店・宿泊業ではほぼ横這いとなった。

(2) [2018年10～12月期見通し]

来期の売上D. I. は9.4と、「増加」超幅が拡大の見通しとなっている。

業種別にみると、情報通信業で「増加」超から「減少」超へと転じ、建設業で「増加」超から「保合い」、小売業で「増加」超幅が大幅に縮小となるものの、製造業、運輸業、サービス業で「減少」超から「増加」超、卸売業で「増加」超幅が大幅に拡大、飲食店・宿泊業で「増加」超幅が拡大の見通しとなっている。

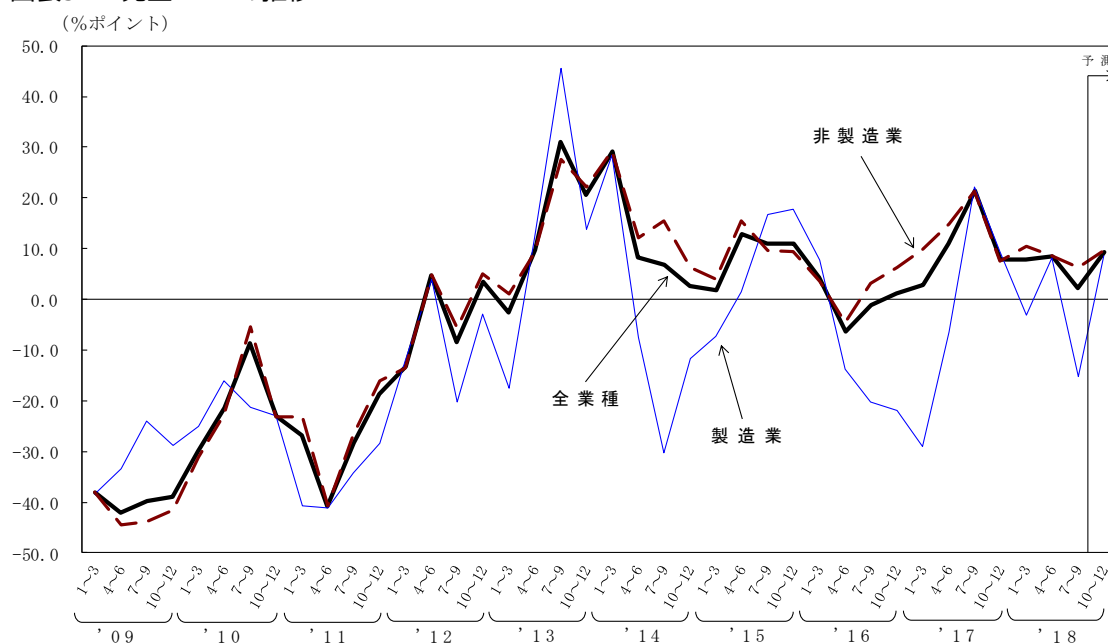
図表3-1. 売上D.I.

参考: 売上D. I. (前年同期比、「増加」-「減少」企業割合)

(単位: %ポイント)

区分 業種		2017年			2018年				
		4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期		10～12月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全業種 D. I. (①—②)		11.0	21.5	7.9	7.9	8.5	(15.8)	2.2	9.4
① 増加 (%)		37.1	40.4	36.4	37.6	37.0	(32.4)	32.6	26.0
不変 (%)		36.8	40.7	35.2	32.7	34.5	(50.9)	37.0	57.4
② 減少 (%)		26.1	18.9	28.4	29.7	28.5	(16.7)	30.4	16.6
製 造 業		△ 6.5	22.2	9.5	△ 3.2	8.2	(27.9)	△ 15.3	8.5
建 設 業		13.8	1.5	△ 16.4	△ 10.8	△ 9.4	(0.0)	20.3	0.0
卸 売 業		32.5	51.2	29.3	32.5	25.0	(27.5)	5.0	25.0
小 売 業		8.3	23.9	8.5	21.7	25.0	(25.0)	15.0	2.5
運 輸 業		15.2	34.4	40.0	16.7	12.1	(6.1)	△ 9.7	9.7
情報通信業		△ 55.6	△ 22.2	△ 21.1	0.0	5.9	(0.0)	5.3	△ 5.3
サービス業		22.9	17.4	0.0	△ 4.8	0.0	(17.8)	△ 8.9	15.6
飲食店・宿泊業		42.1	41.7	25.0	29.2	9.1	(13.6)	8.7	17.4

図表3-2. 売上D. I. の推移



4. 採算水準

— 当期は「黒字」超幅が縮小、来期は「黒字」超幅が大幅に拡大の見通し —

(1)〔2018年7～9月期実績〕

当期の採算水準D. I. は35.7と、「黒字」超幅が縮小となった。

業種別にみると、小売業、飲食店・宿泊業で「黒字」超幅が大幅に拡大、卸売業で「黒字」超幅が拡大となったものの、製造業、運輸業、情報通信業、サービス業で「黒字」超幅が大幅に縮小、建設業で「黒字」超幅が縮小となった。

(2)〔2018年10～12月期見通し〕

来期の採算水準D. I. は45.8、「黒字」超幅が大幅に拡大の見通しとなっている。

業種別にみると、飲食店・宿泊業で「黒字」超幅が横這い、建設業で「黒字」超幅がほぼ横這い、製造業、卸売業、運輸業、情報通信業、サービス業で「黒字」超幅が大幅に拡大、小売業で「黒字」超幅がやや拡大の見通しとなっている。

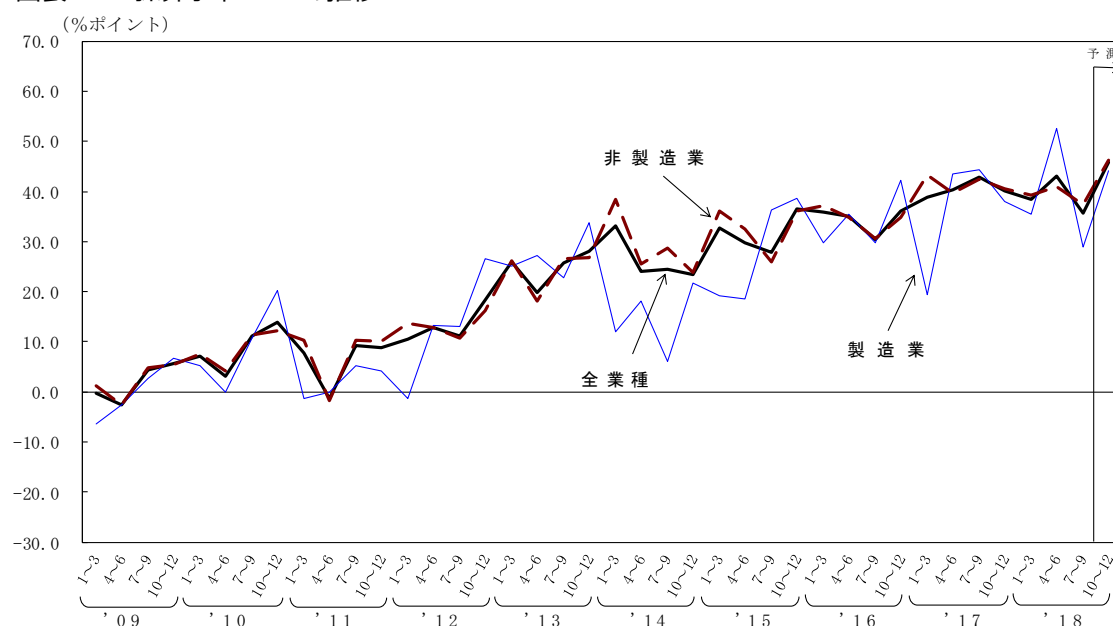
図表4-1. 採算水準D.I.

参考:採算水準D. I. (当該期、「黒字」-「赤字」企業割合)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2017年			2018年			
		4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績
全業種 D. I. (①—②)		40.4	42.8	40.2	38.5	43.0	(42.4)	35.7
	① 黒字(%)	51.0	53.4	51.0	48.8	52.7	(50.3)	48.3
	② トロ(%)	38.3	36.0	38.1	40.9	37.6	(41.8)	39.2
	② 赤字(%)	10.7	10.6	10.9	10.3	9.7	(7.9)	12.5
	製造業	43.5	44.4	38.1	35.5	52.5	(55.7)	28.8
	建設業	40.0	23.1	35.8	44.6	45.3	(32.8)	37.3
	卸売業	45.0	58.5	48.8	60.0	40.0	(45.0)	47.5
	小売業	35.4	58.7	42.6	43.5	45.5	(59.1)	57.5
	運輸業	39.4	37.5	43.3	23.3	42.4	(21.2)	16.1
	情報通信業	33.3	44.4	26.3	41.2	52.9	(41.2)	36.8
	サービス業	35.4	23.9	39.1	26.2	26.7	(28.9)	11.1
	飲食店・宿泊業	47.4	70.8	45.8	20.8	27.3	(45.5)	56.5

図表4-2. 採算水準D. I. の推移



5-1. 資金繰り

— 当期は「楽」超幅がほぼ横這い、来期も「楽」超幅がほぼ横這いの見通し —

(1) [2018年7～9月期実績]

当期の資金繰りD. I. は10.7と、「楽」超幅がほぼ横這いとなった。

業種別にみると、卸売業で「楽」超幅が大幅に縮小、建設業、飲食店・宿泊業で「楽」超幅が縮小、製造業で「楽」超幅がやや縮小、運輸業でほぼ横這いとなったものの、小売業で「苦しい」超から「楽」超に転じ、サービス業で「保合い」から「楽」超、情報通信業で「楽」超幅がやや拡大となった。

(2) [2018年10～12月期見通し]

来期の資金繰りD. I. は8.8と、「楽」超幅がほぼ横這いの見通しとなっている。

業種別にみると、建設業、卸売業、サービス業、飲食店・宿泊業で「楽」超幅がやや縮小となるものの、運輸業で「楽」超幅がやや拡大、小売業、情報通信業で横這い、製造業でほぼ横這いの見通しとなっている。

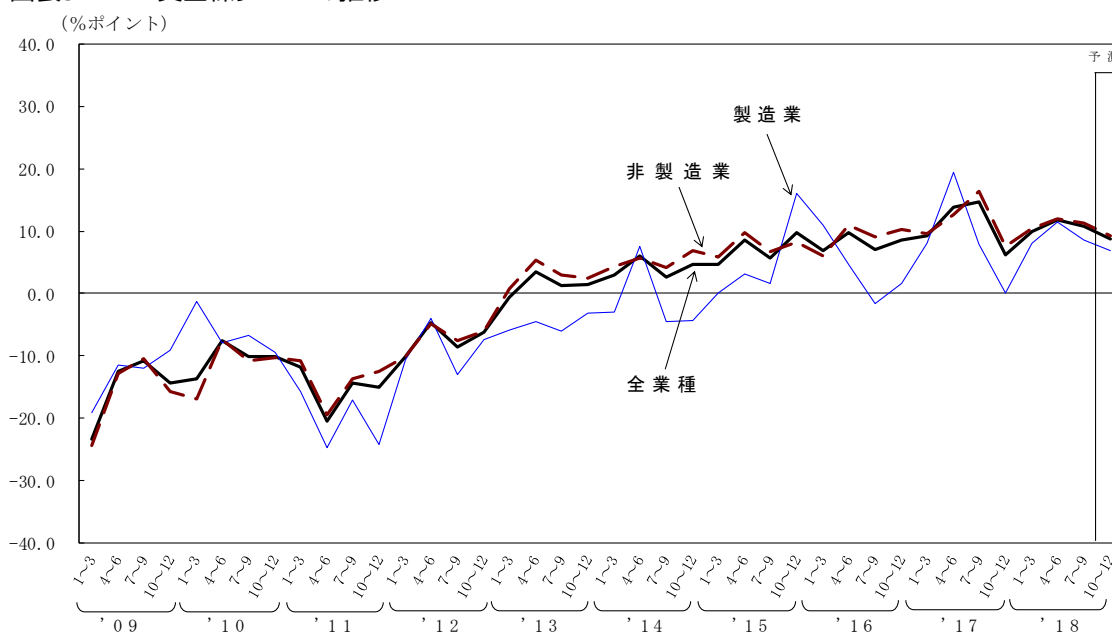
図表5-1-1. 資金繰りD.I.

参考: 資金繰りD. I. (前年同期比、「楽」-「苦しい」企業割合)

(単位: %ポイント)

区分 業種	2017年			2018年				
	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期		10～12月期
	実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全業種 D. I. (①-②)	13.9	14.7	6.2	10.0	11.8	(7.3)	10.7	8.8
① 楽 (%)	19.6	18.3	14.1	16.4	18.2	(12.7)	17.9	12.5
不変 (%)	74.8	78.2	78.0	77.3	75.5	(81.8)	74.9	83.7
② 苦しい (%)	5.6	3.5	7.9	6.4	6.4	(5.5)	7.2	3.8
製造業	19.4	7.9	0.0	8.1	11.5	(8.2)	8.5	6.8
建設業	10.8	9.2	0.0	7.7	15.6	(4.7)	10.2	6.8
卸売業	22.5	26.8	14.6	22.5	32.5	(25.0)	20.0	15.0
小売業	14.6	15.2	4.3	0.0	△ 2.3	(△ 2.3)	5.0	5.0
運輸業	12.1	18.8	6.7	6.7	9.1	(0.0)	9.7	12.9
情報通信業	0.0	11.1	△ 5.3	5.9	11.8	(5.9)	15.8	15.8
サービス業	2.1	6.5	13.0	11.9	0.0	(8.9)	6.7	4.4
飲食店・宿泊業	36.8	41.7	25.0	25.0	22.7	(9.1)	17.4	13.0

図表5-1-2. 資金繰りD. I. の推移



5-2. 借入難易

— 当期は「容易」超幅が横ばい・来期は「容易」超幅がほぼ横這い —

(1) [2018 年 7～9 月期実績]

当期の民間金融機関からの借入難易D. I. は9.4 と、「容易」超幅が横這いとなった。
業種別にみると、情報通信業で「保合い」から「困難」超に転じ、サービス業で「容易」超幅がやや縮小となるものの、建設業、卸売業で「容易」超幅がやや拡大、製造業、小売業、運輸業、飲食店・宿泊業でほぼ横這いとなった。

(2) [2018 年 10～12 月期見通し]

来期の借入難易D. I. は10.0 と、「容易」超幅がほぼ横這いの見通しとなっている。
業種別にみると、飲食店・宿泊業で「容易」超幅がやや縮小となるものの、情報通信業で「困難」超から「容易」超に転じ、小売業で「容易」超幅がやや拡大、製造業で「容易」超幅がほぼ横這い、建設業、卸売業、運輸業、サービス業で横這いの見通しとなっている。

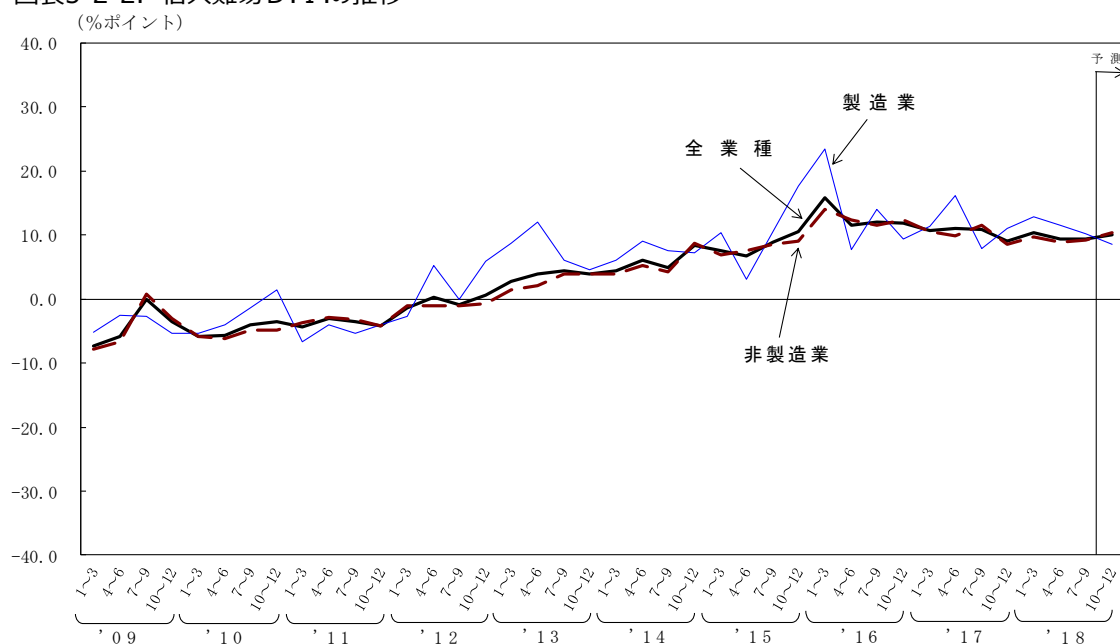
図表5-2-1. 借入難易D.I.

参考:借入難易D. I. (前年同期比、「容易」-「困難」企業割合)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2017年			2018年			
		4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績
全業種 D. I. (①—②)		11.0	10.9	9.1	10.3	9.4	(8.2)	9.4
	① 容易(%)	13.4	12.7	11.7	12.4	11.8	(11.5)	11.6
	不変(%)	84.3	85.5	85.6	85.5	85.8	(85.2)	86.2
	② 困難(%)	2.4	1.8	2.6	2.1	2.4	(3.3)	2.2
製造業		16.1	7.9	11.1	12.9	11.5	(9.8)	10.2
建設業		15.4	13.8	11.9	10.8	14.1	(18.8)	18.6
卸売業		15.0	17.1	9.8	12.5	12.5	(12.5)	15.0
小売業		2.1	6.5	2.1	8.7	2.3	(0.0)	2.5
運輸業		9.1	6.3	10.0	6.7	9.1	(3.0)	9.7
情報通信業		0.0	5.6	△ 10.5	0.0	0.0	(△ 5.9)	△ 5.3
サービス業		4.2	8.7	15.2	11.9	6.7	(4.4)	2.2
飲食店・宿泊業		26.3	25.0	12.5	12.5	13.6	(9.1)	13.0

図表5-2-2. 借入難易D. I. の推移



Ⅲ. 参考

参考 1. 販売数量（製造業・卸売業・小売業のみ）

— 当期は「増加」超から「減少」超に転じ、来期は「減少」超から「増加」超に転じる見通し —

(1)〔2018 年 7～9 月期実績〕

当期の販売数量D. I. は△6.5 と、「増加」超から「減少」超に転じた。

業種別にみると、製造業で「増加」超から「減少」超に転じ、卸売業で「増加」超幅が大幅に縮小、小売業で「増加」超幅が縮小した。

(2)〔2018 年 10～12 月期見通し〕

来期の販売数量D. I. は 5.8 と、「減少」超から「増加」超へ転じる見通しとなっている。

業種別にみると小売業で「増加」超から「減少」超に転じるものの、製造業で「減少」超から「増加」超に転じ、卸売業で「増加」超幅が大幅に拡大の見通しとなっている。

表1. 販売数量D.I.

参考：販売数量D. I.（前年同期比、「増加」-「減少」企業割合）

（単位：％ポイント）

業種	区分	2017年			2018年			
		4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績
全業種	D. I. (①—②)	3.3	28.0	10.6	6.1	14.5	(18.6)	△ 6.5
	① 増加(%)	31.3	46.7	35.8	34.5	39.3	(31.0)	26.6
	不変(%)	40.7	34.7	39.1	37.2	35.9	(56.6)	40.3
	② 減少(%)	28.0	18.7	25.2	28.4	24.8	(12.4)	33.1
	製造業	△ 4.8	22.2	9.5	△ 6.5	14.8	(23.0)	△ 20.3
	卸売業	15.0	46.3	24.4	25.0	17.5	(20.0)	2.5
	小売業	4.2	19.6	0.0	6.5	11.4	(11.4)	5.0

参考 2. 販売価格（製造業・卸売業・小売業のみ）

— 当期は「上昇」超幅がほぼ横這い、来期は「上昇」超幅が横這いの見通し —

(1)〔2018 年 7～9 月期実績〕

当期の販売価格D. I. は 24.5 と、「上昇」超幅がほぼ横這いとなった。

業種別にみると、卸売業で「上昇」超幅が大幅に縮小したものの、製造業で「上昇」超幅が拡大、小売業で「上昇」超幅がやや拡大となった。

(2)〔2018 年 10～12 月期見通し〕

来期の販売価格D. I. は 24.5 と、「上昇」超幅が横這いの見通しとなっている。

業種別にみると、製造業で「上昇」超幅がやや縮小となるものの、卸売業で「上昇」超幅がやや拡大、小売業で「上昇」超幅が横這いの見通しとなっている。

表2. 販売価格D.I.

参考：販売価格D. I.（前年同期比、「上昇」-「下降」企業割合）

（単位：％ポイント）

業種	区分	2017年			2018年			
		4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績
全業種	D. I. (①—②)	20.7	22.0	28.5	25.7	24.1	(28.3)	24.5
	① 上昇(%)	26.7	27.3	32.5	31.8	31.7	(31.7)	30.2
	不変(%)	67.3	67.3	63.6	62.2	60.7	(64.8)	64.0
	② 下降(%)	6.0	5.3	4.0	6.1	7.6	(3.4)	5.8
	製造業	12.9	15.9	19.0	12.9	18.0	(29.5)	23.7
	卸売業	30.0	34.1	39.0	47.5	35.0	(35.0)	25.0
	小売業	22.9	19.6	31.9	23.9	22.7	(20.5)	25.0

参考 3. 在庫水準（製造業・卸売業・小売業のみ）

— 「過剰」超幅が拡大 —

〔2018 年 9 月期末〕

在庫水準D. I. は△10.1 と、前期末と比べて「過剰」超幅が拡大となった。

業種別に見ると、小売業で「過剰」超幅がほぼ横這いとなったものの、製造業で「不足」超から「過剰」超へ転じ、卸売業で「過剰」超幅がやや拡大となった。

表3. 在庫水準D.I.

参考: 在庫水準D. I. （当該期末の水準、「不足」-「過剰」企業割合）

（単位：％ポイント）

業種 / 区分		2017年			2018年		
		6月期末	9月期末	12月期末	3月期末	6月期末	9月期末
全業種	D. I. (①—②)	△ 5.3	△ 1.3	△ 2.6	△ 8.1	△ 2.8	△ 10.1
	① 不足(%)	0.0	3.3	3.3	2.0	4.1	0.7
	適正(%)	94.7	92.0	90.7	87.8	89.0	88.5
	② 過剰(%)	5.3	4.7	6.0	10.1	6.9	10.8
	製 造 業	△ 9.7	1.6	0.0	△ 6.5	3.3	△ 11.9
	卸 売 業	0.0	0.0	△ 4.9	△ 10.0	△ 5.0	△ 7.5
	小 売 業	△ 4.2	△ 6.5	△ 4.3	△ 8.7	△ 9.1	△ 10.0

参考 4. 雇用判断

－ 当期は「不足」超幅がほぼ横這い（29 期連続の「不足」超）、
来期は「不足」超幅がやや拡大の見通し －

(1) 〔2018 年 7～9 月期実績〕

当期の雇用判断D. I. は 47.3 と、「不足」超幅がほぼ横這いとなった。

業種別にみると、運輸業で「不足」超幅が大幅に縮小となったものの、飲食店・宿泊業で「不足」超幅が大幅に拡大、サービス業で「不足」超幅が拡大、建設業、卸売業、情報通信業で「不足」超幅がやや拡大、製造業、小売業で「不足」超幅がほぼ横這いとなった。

(2) 〔2018 年 10～12 月期見通し〕

来期の雇用判断D. I. は 49.8 と、「不足」超幅がやや拡大の見通しとなっている。

業種別にみると、飲食店・宿泊業で「不足」超幅が縮小、卸売業、サービス業で「不足」超幅がやや縮小となるものの、建設業、運輸業で「不足」超幅が大幅に拡大、製造業で「不足」超幅がほぼ横這い、小売業、情報通信業で「不足」超幅が横這いの見通しとなっている。

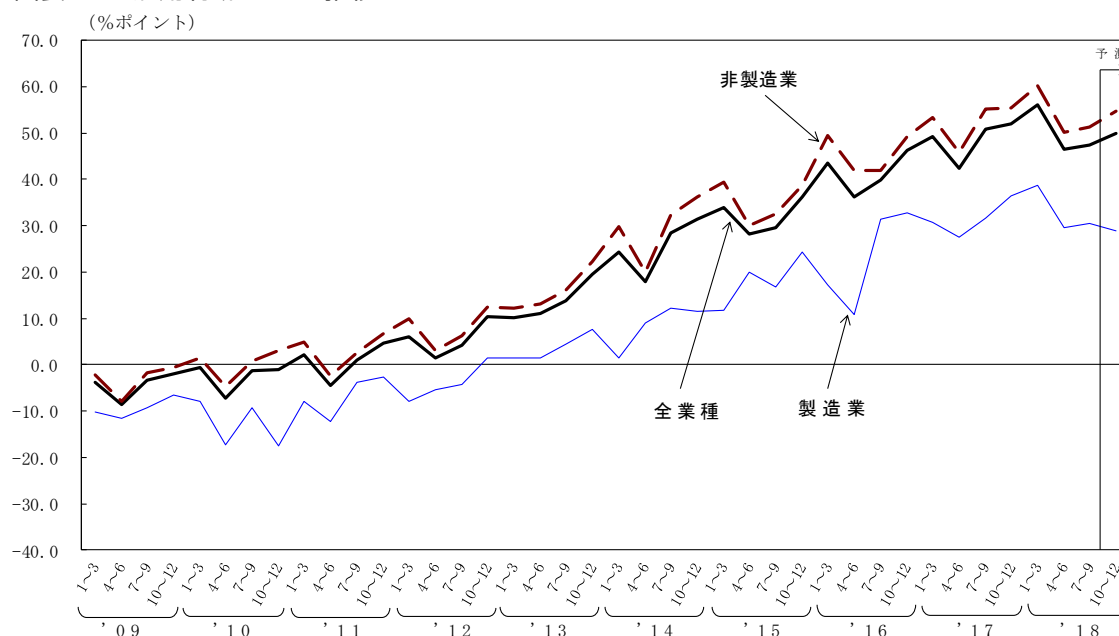
図表4-1. 雇用判断D.I.

参考：雇用判断D. I. （当該期、「不足」-「過剰」企業割合）

（単位：％ポイント）

業種	区分	2017年			2018年			
		4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回見通し
全業種 D. I. (①—②)		42.4	50.7	51.9	56.1	46.4	(49.1)	47.3
	① 不足(%)	44.5	52.5	53.4	57.6	49.1	(50.9)	49.2
	適正(%)	53.4	45.7	45.2	40.9	48.2	(47.3)	48.9
	② 過剰(%)	2.1	1.8	1.5	1.5	2.7	(1.8)	1.9
製 造 業		27.4	31.7	36.5	38.7	29.5	(36.1)	30.5
建 設 業		36.9	52.3	62.7	60.0	45.3	(50.0)	47.5
卸 売 業		27.5	36.6	29.3	47.5	40.0	(37.5)	42.5
小 売 業		58.3	58.7	63.8	73.9	61.4	(65.9)	60.0
運 輸 業		51.5	62.5	70.0	70.0	63.6	(54.5)	45.2
情報通信業		5.6	5.6	5.3	11.8	5.9	(5.9)	10.5
サービス業		64.6	71.7	67.4	71.4	57.8	(64.4)	66.7
飲食店・宿泊業		68.4	87.5	66.7	62.5	59.1	(68.2)	73.9

図表4-2. 雇用判断D. I. の推移



参考 5. 経営上の問題点

— 15 期連続で「求人難」が最多となる —

〔2018 年 7～9 月期〕

当面の経営上の問題点としては、15 期連続で「求人難」（図表 5-1 の表頭⑩23.3％）の割合が最も高く、続いて、「人件費の増加」（同⑤12.9％）、「設備・店舗の狭小等」（同⑪12.6％）の順となった。

業種別にみると、製造業で「原材料高」及び「設備・店舗の狭小等」、情報通信業で「利益の減少」の割合が最も高く、他の業種では「求人難」の割合が最も高い。

図表5-1.経営上の問題点(複数回答)

(単位：％)

区分 業種	① 売上の不振	② 製品安等	③ 利益の減少	④ 原材料高	⑤ 人件費の増加	⑥ 人件費以外経費の増加	⑦ 代金回収難	⑧ 借入難	⑨ 余剰人員	⑩ 求人難	⑪ 設備・店舗の狭小等	⑫ 事業承継	⑬ その他
全業種	11.5	2.9	11.1	12.0	12.9	8.1	0.9	0.3	0.0	23.3	12.6	2.3	2.2
製造業	12.3	1.9	10.3	17.4	12.3	9.7	1.9	0.6	0.0	15.5	17.4	0.6	0.0
建設業	10.1	2.2	13.0	13.8	11.6	11.6	0.0	0.0	0.0	26.8	4.3	2.9	3.6
卸売業	9.7	7.5	14.0	12.9	8.6	6.5	1.1	1.1	0.0	21.5	15.1	1.1	1.1
小売業	14.4	2.1	8.2	8.2	15.5	7.2	2.1	0.0	0.0	26.8	11.3	2.1	2.1
運輸業	15.6	1.3	9.1	13.0	14.3	5.2	0.0	0.0	0.0	19.5	15.6	2.6	3.9
情報通信業	22.9	5.7	25.7	2.9	5.7	5.7	0.0	0.0	0.0	20.0	5.7	2.9	2.9
サービス業	10.5	3.8	10.5	5.7	17.1	5.7	0.0	0.0	0.0	27.6	13.3	3.8	1.9
飲食店・宿泊業	1.6	0.0	4.8	12.9	16.1	8.1	1.6	0.0	0.0	32.3	16.1	4.8	1.6

